

## 2026 年 4 月 16 日（木）第 14 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

### 会 長 時 間



ロータリーは自己研鑽の場です。みなさんこんばんは。

当クラブは昨年 9 月 1 日に R I に加盟しましたが、皆様のご入会にあたって、「入会のお誘い」という資料を差し上げたと思います。そこには、当クラブの目指すところ、取り組んでいこうとする奉仕活動などについて、簡単にご説明しています。しかし、あれから数ヶ月が経過し、皆様のご記憶も薄くなっていると思いますので、改めてお伝えしようと思います。自分が属するクラブがどんなクラブなのか、しっかり理解していることは、とても大切ですし、それがなければ会員候補者の方に声を掛けることもできません。是非、しっかりとご理解いただきますようお願いいたします。

まず、当クラブは、ロータリーの世界では伝承されにくくなっている、「人を育てる」というロータリークラブの機能を重視するクラブです。皆さんが各自で、より良い人間、より良い職業人、より良い奉仕人になろうとする強い意志と、それに伴う自己研鑽活動を行うこと、そして、クラブがそれを支えること、これがロータリークラブが持つ「人を育てる」という機能の仕組みです。

皆さんは、入会に際して、当クラブの定款、細則、運営内規を遵守することを誓約されています。その運営内規にも、第 1 条に、「ロータリー運動の基本は良いロータリアンになるための自己教育であり、自己教育の結果生まれた、誰に対しても寛容で優しくなれるという「奉仕の心」があってはじめて心のこもった対外的奉仕が可能になることを理解し、自己教育の実践を怠りません。」と書いてあります。

皆さんは自己研鑽されていますか？ 最近、どのように自己研鑽すればいいのか、という疑問を耳にしました。その答えは、皆さん一人一人がお決めになることですが、ひとつだけ例を示しますと、まず、例会には必ずご出席ください。例会で得られることは、例会プログラムや会長時間に伝達されるロータリーに関する情報、そして、他の会員との人間関係を通して得られる、人に優しくすることや多様な価値観を認める訓練です。欠席はメイクアップでカバーできますが、実際に出席しなければ、得られるものは少なくなり、また、欠席癖が付くと所属だけの会員になってしまいます。まずは、皆さん、例会には必ず出席してください。

次に、入会に際して差し上げた四つのテストの額、いつも目に見えるところに飾ってくださいとお願いしましたが、どうか、自己研鑽の一つとして、この 4 つのテストを、よく考えて、毎日をお過ごしください。

い。これは以前申し上げましたが、真面目に取り組むと、4つとも実践するのは難しいのではないかという疑問に行き着きます。そこまで実践し、考え、更にその先に、4つ同時に達成できなければどうするか、自分ならではの答えを出す。こういうことに、真剣に日々取り組んでいただきたいと思います。

そして最後に、運営内規第1条の「第1条 広島新世代ロータリークラブの理念」をしっかりと理解し、ルールを守って日常生活をおくって下さい。

以上、例会に出る、四つのテストを真剣に日常生活に適用する、運営内規第1条を遵守する、このことを数年続ければ、間違いなく皆さんは色んな局面で成長することができるでしょう。

実はこの数ヶ月、その方なりの自己研鑽を積まれて、仕事のやり方や対人関係が変わってきた方もいらっしゃると思います。全ての会員の皆さんが、そうなることを、心から願っています。

そして、皆さんのこのような各自の自己研鑽が可能になるよう、当クラブは最大限サポートをいたします。具体的には、ロータリーに関する情報の提供、クラブが主導する奉仕活動の企画実施による奉仕機会の提供、インターシティミーティング、地区大会、各種研修への参加などの機会の提供、こういうことをしていきます。

このように、当クラブは、皆さんの自己研鑽を前提に、それをサポートして「人を育てる」という本来ロータリークラブが持っている本質的な機能を重視するところが最大の特徴です。

さて、当クラブの特徴の2つめは、「青少年奉仕」と「平和貢献」を特に重視することです。皆さんに配布した資料には、「全ての奉仕をまんべんなく計画し実践するのではなく、次世代の担い手である若年層の価値及び重要性を会員で共有し、主に地域社会の若年層の保護・育成活動に重点を置くクラブとします。クラブのマンパワーや予算を、青少年奉仕に重点的に傾けます。」と書かれています。また、「平和都市広島に位置し、原爆ドームに隣接し一望できる会場で例会をするクラブとして、ロータリーの究極目標である世界平和の実現に貢献する活動にも重点を置きます。」とも書かれています。

具体的に何をするかは、現在、皆さんに次年度の計画をしてもらっていますね。次年度から、こう明言しているクラブにふさわしい活動をしていきたいものです。奉仕プロジェクト委員会は、単にいいことをするだけでなく、このような奉仕を強く意識して、計画をお願いいたします。

以上、当クラブの特徴について、2つ、今一度お伝えしました。最後に繰り返しておきます。

まず、当クラブは、「人を育てる」というロータリークラブの機能を重視するクラブです。皆さんが各自で、より良い人間、より良い職業人、より良い奉仕人になろうとする強い意志と、それに伴う自己研鑽活動を行うことが会員に求められます。そして、クラブがそれを支えています。

2つめ、当クラブは、「青少年奉仕」と「平和貢献」を特に重視するクラブです。

この2つが、当クラブが他のクラブと大きく異なり、また、誇れる部分です。どうかお忘れなきようお願いいたします。

最後に、会員数の目標について少しお話しします。私は、やみくもに会員増加を図るのは得策ではないと考えています。他の多くのクラブと異なり固定費が低いため、財政的に会員数を増やす必要もありません。しかし、当クラブがより質が高く意義ある活動が続けていこうとすれば、やはり多種多様な皆さんの参加が必要です。このように考えますので、やはり会員増加の目標というのは持つべきであり、具体的には、これもいつかお伝えしたように思いますが、設立後3年以内に40名程度を想定しています。

今年度は、把握している入会候補者が3名おりますので、これを含めると24名で終わる予想です。では、次年度はどうするか。これは、会員増強委員会の渡辺委員長を中心に、みんなで取り組んでいかなければなりません。30名強にはもっていきたいところですね。そして3年目の年度には、40名を超えること、このようなイメージで考えています。

ただ、皆さんにわかっていただきたいことは、会員増強は会員全員の義務です。皆さんの周りに候補者がいらっしゃったら、その情報を気軽に渡辺委員長に提供して下さい。

尚、今日お話しした、「入会のお誘い」に加え、これも設立時にロータリーの友編集部作成の資料を引用して作成した資料ですが、「RCHNG 自己教育の指針」という資料を、昨日全員にメールしていますので、しっかりと、何度も読んで、実践していただきますようお願いいたします。

以上で今日の会長時間を終わります。ありがとうございました。

## 例 会 次 第

- ・開会点鐘
- ・国歌斉唱（各月第1例会のみ）
- ・ロータリーソングの唱和 「奉仕の理想」
- ・「四つのテスト」唱和（各月第1例会のみ）
- ・来訪ロータリアン及び来客の紹介
- ・会長時間
- ・幹事報告

- ・出席報告
- ・委員会報告
- ・例会プログラム  
クラブ協議会 「次年度の事業計画中間報告」
- ・閉会点鐘

## 幹 事 報 告

- ・再来週の 4/25（土）はインターシティミーティングが呉の阪急ホテルで開催されます。出席される方は時間を再度チェックをお願いします。
- ・4/26（日）はクラブリーダーシップ・ラーニングセミナーが広島国際会議場で開催されます。出席される方はまた同じく時間をチェックしてください。

## 出 席 報 告

本日の例会 参加会員数： 21 名中 15 名（うちオンライン参加者 2 名）【出席率 62%】  
来賓・来客： 0 名（うちオンライン参加者 0 名）

## 委 員 会 報 告

なし

## ス マ イ ル B O X

- ・坂本純一さん：子供の卒業、入学、引越の 3 連コンボが無事終わってほっと一息も束の間、中東トラブルで連日バタバタです。笑えない状況ですが笑って頑張ります。
- ・谷口公啓さん：4 月 12 日（火）に開催された広島県シニアゴルフ選手権の一次予選にギリギリ通過できました。6 月 11 日に行われる決勝大会に向けてがんばりたいと思います。

皆さんありがとうございました！

## プ ロ グ ラ ム

クラブ協議会 「次年度の事業計画中間報告」

委員会毎に、次年度事業計画の中間報告をしていただきました。